

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	車社会とはいえ、地区住民の足は、ほとんど確保されていない。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	住民の要望を反映したものとなっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	乗車料金（受益者負担金）の見直しを図ることで経費の削減が図られる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	住民の利便性の確保が図られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	事業費及び人件費は適切である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	計画に沿った実施事業であり、現在のところ見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	補助金の見直しを行うためには、業者見積による契約額の削減が必要である。

2次評価	バスの未運行区間であり、住民の医療・福祉をはじめとする生活確保のため必要な事業であり継続を図ることとするが、今後、受益者負担のあり方・見直しなど、補助の基礎となるものについて検証していくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。